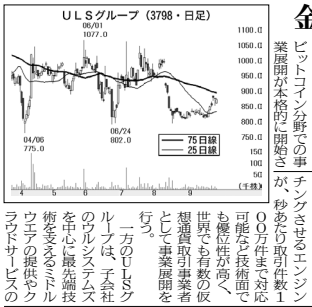
ULS 大手ビットコイン事業者と提携

金融分野へ事業加速

ULSグループ（3798・JQ）は38日、連結子会社ウルシステムズとともに、最先端仮想通貨取引プラットフォームのQUOINEと業務・資本提携を行ったことを発表した。本提携により、QUOINEのブロックチェーン技術を活用したビットコインを導入しているためセキュリティー面でも優れており、また、ビットコインの売り方買い方をマッチングさせるエンジンが、秒あたり取引件数1000万件まで対応可能だと技術面でも優位性が高く、仮想通貨取引事業者として事業展開を行う。

一方のULSグループは、子会社のウルシステムズが中心に最先端技術を支えるミドルウエアの提供やクラウドサービスの構築を支援に注目を集めている。7月にはエムログ社が手掛ける、車載センサーを活用した営業車の状況をモニタリングするクラウドサービス「VEETA」の構築を支援している。また、レンタカー会社、自動車販売会社や運送会社、レンタカー会社、自動車販売会社や運送会社への導入準備が進んでいるとの。今回のQUOINEの提携では、2月に提供開始されたJavaプログラムのメモリ使用効率を最大500倍に高めるミドルウエア「LuFIRE Memory Optimizer」が活用されるものとみられるが、同製品はフィンテック以外にもIoT（モノのインターネット）やビッグデータ処理などでも適用が見込まれてる。同社は3年間で30社以上の導入を目指しており、今後は提携を皮切りに導入が加速することなる。

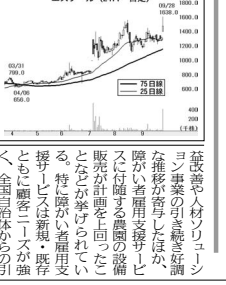
ULSグループ（3798・日足）



エスプール 農園設備販売が好調

今日1期業績予想の上方修正を受け、倉庫軽作業やコールセンターへの人材派遣を中心とするエスプール（2471・JQ）の人気が高まっている。第2四半期決算は主力のコールセンター業務と店頭支援業務の好調なら株価4ケタ台乗せを成し遂げ、その後も強い推移から、営業利益2億4700万円（前年同期比8倍）と収益大幅拡大は、27日に発表された新たな通期業績予想で、売上高91億6600万円（同8・2倍）を大きく更新する見通しとなったことが挙げられている。特に障がい者雇用支援サービスは新規・既存ともに顧客ニーズが強く、全国自治体からの引き合いが旺盛なことが、同社については、こうした農園務支援を掲げ、全国展開に発展している。同意を得た患者の傷病名や検査結果、処方箋などの診療データを提携病院と患者本人とで共有するサービス。患者にはDまたは診療券代わりのカードを発行し、今後はこれにクレジット機能が加わる。このカードを使えば、患者は診療直後にその場で会計を済ますことができ、病院に対する「会計待ちの長さ」に対する不満の解消が期待される。

エスプール（2471・日足）



シルバーエッグ・テクノロジー　IPO社長会見

シルバーエッグ・テクノロジー（3961）が27日、マザーズに新規上場した。上場2日目に公開価格の2.9倍となる2622円で初値を形成。上場当日の記者会見でトーマス・アクイナス・フォーリー代表取締役社長＝写真＝は次のように語っている。

世界展開も視野に

大手通販サイトなど導入200超…AI（人工知能）エンジニアの私が、ネットバブルのピークだった1998年に創業。インターネット上でユーザーの嗜好（しこう）やニーズを分析し、最適な商品やコンテンツを表示する「レコメンデーション」サービスを開発、EC（電子商取引）サイト運営会社などの計に提供している。特徴はリアルタイム処理が可能なことと、成功報酬型であること。国内に競合は数社あるが、中でも当社の高い技術力が遜好されて、現在は200以上のサイトが導入済み。リピート率は95%超。近年は他社サービスからの乗り換えも多い。

リアルタイム処理で機会損失ゼロ…リアルタイムでユーザーの行動履歴を分析し、次のニーズを自動で予測するという技術は、世界的に見ても珍しい。ちなみに他社ではデータを一定量集めてから分析する「バッチ処理」が一般的だ。これ、情報を溜め込むことなく瞬時に処理する当社技術ならば、データ量が膨大でも機会損失が生じない。加えて成果報酬型だのため、これまで蓄積してきたノウハウを惜しみなくクライアントに提供するという姿勢も、他社にはない大きな特徴といえる。

高成長持続、今期5割増益を計画…直近5年は売上高で年率2割増との高成長を続けており、今12月期も同様の伸びを見込む。一方、利益面は前期の2割増から、今期は5割増を計画するなど拡大局面を迎えた。クライアントが、これまでメーンだった小売りから不動産や求人などへと業種が急拡大していることに加えて、画像付きメールを配信する「レコガソウ」など新サービスの本格始動を予定している。また、創業時から上場と世界展開を視野に入れており、世界展開についても準備を進めていく。

エキサイト　働き方改革、に期待感

家事代行サービス、人材派遣に商機

政府が27日に開いた「働き方改革実現会議」の初会合において、安倍総理大臣は同一労働同一賃金を含めた非正規雇用の処遇改善や、長時間労働を是正するための具体策の検討を進めていくよう指示した。このうち長時間労働の是正については、厚生労働省が既に検討を始めているとしている。今後は改革に必要な法整備なども含めて議論を進め、具体的な実行スケジュールなどを盛り込んだ「働き方改革実行計画」を年度内に策定する。また、子育て・介護や農業など人手不足分野の中心に、外国人労働者の受け入れ拡充についても検討を進めていくとの動きも。

こうした状況下、エキサイト（3754・JQ）は、家事代行・介護家族支援のサポーターを直接結ぶマッチングサービスなどで昨年11月から「ファミリーサポーター」において、民泊清掃代行カテゴリを新設したことを発表した。これに先駆け10月8日には、これから民運営を発表した。これに先駆け10月8日には